

●藻岩山観光施設のリニューアルオープンについて

再整備のために平成 22 年 4 月から休止していた藻岩山の観光施設が、平成 23 年 12 月 23 日にリニューアルオープンします。

今回の再整備は、「環境保全」と「バリアフリー」をテーマに掲げ、ロープウェイ設備の改修や、駅舎および展望台の全面改築、ミニケーブルカー施設や自然学習歩道などの新設を行ったものです。

このたびの再整備により、子どもや高齢者、障がい者などの誰もが利用しやすく、豊かな自然に親しむことのできる、より魅力的な施設へと生まれ変わります。

1 主な運営事業者

株式会社札幌振興公社（星野 尚夫代表取締役社長）

2 施設再整備のテーマ

(1) 環境保全

190 万都市札幌に隣接した、天然記念物を含む豊かな自然環境を守る。

(2) バリアフリー

市民や観光客、子ども、高齢者、障がい者などの誰もが利用しやすい施設とする。

3 各施設の営業内容

(1) 各施設の営業時間（予定）

| 施設 | 営業期間 | | 営業時間 | 従前の営業時間 |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|---|
| ロープウェイ および ミニケーブルカー | 夏季 | 4 月第 1 金曜 ～11 月 30 日 | 10:30～22:00 (上り最終 21:30) | 4～5 月 10:30～21:30 6～9 月 10:30～22:00 10～11 月 10:30～21:30 |
| | 冬季 | 12 月 1 日 ～3 月 31 日 | 11:00～21:00 (上り最終 20:30) | 11:00～20:00 |
| 観光道路 | 4 月第 1 金曜 ～11 月 30 日 | | 10:00～22:00 (閉門 21:30) | 4～5 月 9:00～22:00 6～9 月 9:00～23:00 10～11 月 9:00～23:00 |

(2) 各施設の料金

① ロープウェイ等施設（いずれも往復料金）

| | 区分 | ロープウェイ + | ロープウェイ | ミニケーブルカー |
|------------------|----|-------------|---------|----------|
| | | ミニケーブルカー | | |
| 一般 | 大人 | 1,700 円 | 1,100 円 | 600 円 |
| | 小人 | 850 円 | 550 円 | 300 円 |
| 普通割引 (市電割引等) | 大人 | 1,500 円 | | |
| | 小人 | 750 円 | | |
| 団体割引 (15 名以上) | 大人 | 1,360 円 | 880 円 | 480 円 |
| | 小人 | 680 円 | 440 円 | 240 円 |
| 身障者割引 | 大人 | 850 円 | 550 円 | 300 円 |
| | 小人 | 450 円 | 300 円 | 150 円 |
| シーズンパス | 大人 | 2,800 円 | | |
| | 小人 | 1,400 円 | | |

※ 市民割引や各種セット料金、企画チケットなどについて検討中。

② 観光道路

料金改定を検討中であるが、国土交通省の認可事項のため、現在調整中（従前の料金は660円）。

4 環境保全への取り組み

- ・ 平成19年に策定した「環境配慮ガイドライン」に基づき、設計段階・工事段階で、自然環境や周辺住環境への影響を最小限にしながら事業を進めている。
- ・ 山頂駐車場の廃止に伴い、藻岩山に由来から自生している在来種による緑化を市民参加により実施。
- ・ 市電「ロープウェイ前」停留所付近から山麓駅までの無料シャトルバスの運行に際しては、環境に配慮し、バイオディーゼル車を導入予定。
- ・ 中腹施設に太陽光発電を導入。

5 バリアフリーへの取り組み

- ・ 全ての建物にエレベーターを設置。ロープウェイやミニケーブルカーは、車椅子での乗降が可能。
- ・ 全ての建物にオストメイト対応多目的トイレを設置。
- ・ 山麓駅は建物前に車寄せを設置し、乗り場まで段差なく移動が可能。

6 アイヌ文化の紹介等

- ・ 山頂エリアにアイヌの儀式のためのスペースを確保。
- ・ 中腹施設内に伝統工芸の展示兼販売スペースの設置を調整中。
- ・ 山頂部緑化スペースや自然学習歩道などでの樹名板へのアイヌ語併記を検討。

7 オープン関連日程

| | |
|-----------------|---------------------------|
| 平成23年11月30日 | しゅん工・引き渡し |
| 平成23年12月20日・21日 | 内覧会（議会・地元町内会・旅行会社・各メディア等） |
| 平成23年12月23日 | オープニングセレモニー、供用開始 |

問い合わせ先

観光文化局観光コンベンション部観光企画課 金田・小野

電話：211-2376

もいわ山施設の概要

□ 札幌振興公社事業 ■ 札幌市補助事業 ◆ 札幌市単独事業

● 山麓エリア ～ ロープウェイ駅舎・駐車場・シャトルバス施設・道路等整備 ～



- 山麓駅舎 (地上3階、地下1階、RC造、延床面積1,265㎡)
- ロープウェイ (延長1,198m、定員66名、H22整備済)
- 山麓駅車寄せ
- 立体駐車場(駐車台数128台、うち大型バス9台)
- 市電電停そばシャトルバス待機場
- ◆ 山麓歩道整備(延長380m、車道ヒーティング更新含む)
- ◆ 山麓駅～水道記念館散策路(延長約180m、一部を除きH24整備予定)
- 無料シャトルバス(バイオディーゼル、定員20名)

● 中腹エリア ～ ロープウェイ駅舎・ミニケーブルカー施設・売店・市民NPO等活用施設 ～



- 中腹施設(地上2階、RC・一部S造、延床面積1,215㎡)
- ミニケーブルカー(延長約240m、定員60名)
- 市民活用施設(RC・一部木造、床面積183㎡)
- 観光道路改修(H24.4供用開始予定)
- 自然レクチャー施設(中腹施設内、床面積92㎡)
- 中腹駐車場(駐車台数81台、うち大型バス3台、H24.4供用開始予定)
- 自然学習歩道(延長565m、H24供用開始予定)
- ロフトウ(スキー場との連絡、H24整備予定)

● 山頂エリア ～ 展望台・レストラン・札幌紹介施設・登山者休憩施設 ～



- 山頂展望台(地上1階、地下1階、塔屋1階、RC・一部S+SRC造、延床面積1,358㎡)
- 札幌紹介施設(展望台内、床面積112㎡)
- ◆ 札幌紹介施設映像コンテンツ制作
- ◆ 登山者休憩施設(展望台内、床面積84㎡)
- 山頂駐車場緑化(面積約3,800㎡、オープン時は最小限の整備)
- 給排水設備(給水管延長約3,830m、ポンプ設備2か所、排水管延長約3,900m)

【施設の特徴】

- 車寄せ、エレベーター、多目的トイレ等、山麓から山頂まで誰でも利用できるバリアフリー施設
- 自然学習歩道や散策路、24時間開放の登山者休憩施設、山頂の緑化など、市民が藻岩山の自然を身近に楽しむことができる環境の創出
- 札幌の自然・地勢・歴史・文化を3D映像で紹介する札幌紹介施設やアイヌの儀式を紹介する場を設置
- 環境学習等、藻岩山におけるNPO等の活動拠点となる施設を設置
- 市内の眺望や夜景を楽しみながら食事ができるレストランの設置
- 電停付近から山麓駅までのシャトルバス運行による市電との連携強化



リニューアルオープン：平成23年12月23日
 グランドオープン：平成24年4月 (観光道路供用開始。日付未定)

藻岩山施設の案内表記は「もいわ山」で統一する予定(看板の視認性や読みやすさ、ニセコモイワとの区別を考慮)